

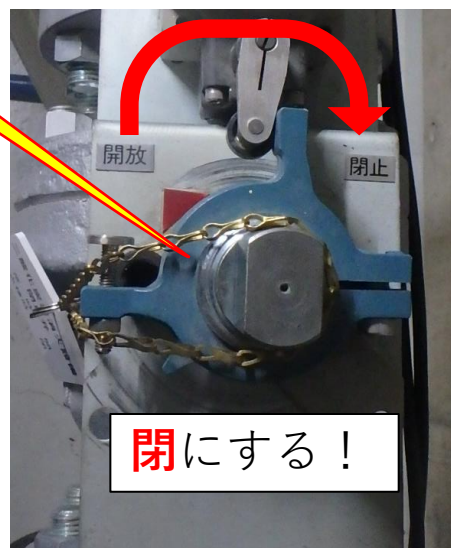
注意してください！ 二酸化炭素消火設備の誤放出

令和3年4月15日に東京都新宿区のマンション地下駐車場において二酸化炭素消火設備の誤作動により死傷者が出る事故が発生しました。また、令和2年12月に名古屋市で、令和3年1月に東京都で同様の事故が発生しています。

今後、同様の事故を起こさないよう、次の事項に御注意ください。

二酸化炭素消火設備が設けられている付近で工事等をする際は以下の点に注意してください。

- 1 二酸化炭素消火設備を熟知した消防設備士や消防設備点検資格者が立ち合い、必要な安全対策の管理がなされる体制を確保すること。
- 2 作業中に消火剤が放出されないように、事業所関係者と工事従事者が作業前に閉止弁を閉止する等の措置を講じた上で作業すること。
- 3 制御盤の自動手動切替えスイッチを「手動」にすること。



手動にする！



建物利用者等へ周知してください。

防火管理者や二酸化炭素消火設備設置場所の利用者に対して、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法等について情報を共有し、周知してください。

間違えて手動起動装置のカバーを開けたり、起動ボタンを押してしまった時は次のとおり対応してください。

- 1 手動起動装置のカバーを誤って開け、警報装置が作動した場合は、**カバーを閉めて復旧**してください。
- 2 誤って起動ボタンを押した場合は、二酸化炭素が放出されるまでの間であれば、手動起動装置の中にある**停止ボタンを押す**ことで、**二酸化炭素の放出を停止**できます。



手動起動装置

停止ボタン

起動ボタン



二酸化炭素消火設備作動時は次のとおり対応してください。

- 1 二酸化炭素消火設備が作動した場合は、**ただちにその場から離れ、119番通報**してください。
- 2 関係者以外の人**が立ち入らないように管理**を徹底してください。

二酸化炭素の人体への影響

二酸化炭素が放出されると、防護区画内の二酸化炭素濃度は34%以上となります。二酸化炭素濃度が**10%の環境下で人は意識を失いそのまゝの状態では死に至ります**。34%以上という環境下ではすぐさま死に直結します。

二酸化炭素消火設備は使用方法を誤ると大変危険な設備です。

二酸化炭素消火設備が設置された場所に関係する方は、必ず**使用方法や注意点を確認**しましょう！

【問合せ】

春日井市消防本部予防課

電話 0568-85-6385